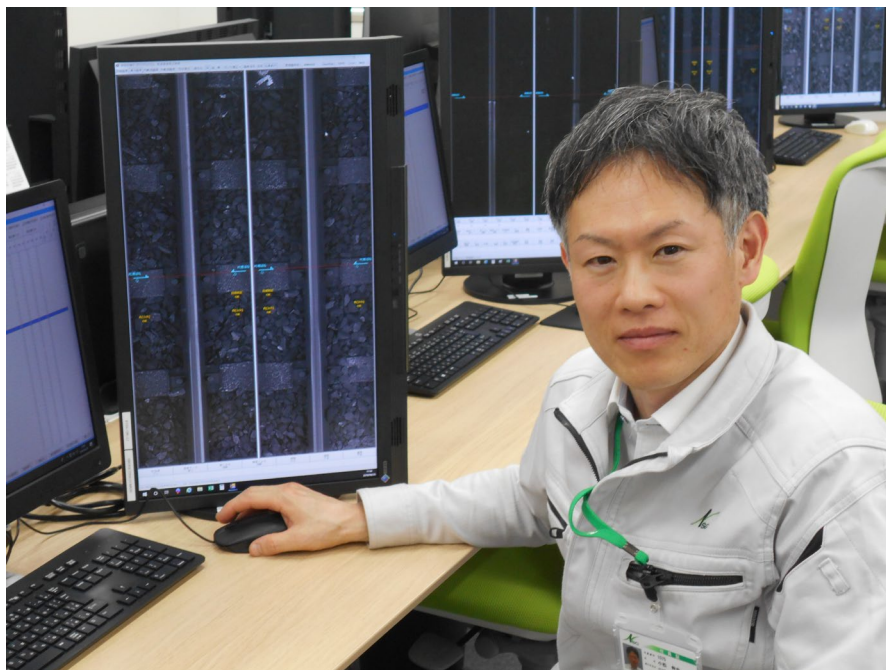


受賞技術	保線におけるモニタリング技術の実用化と維持管理への応用
技術開発者	株式会社日本線路技術 小松伸也



#### 受賞にあたって

この度は、栄誉ある国土技術開発賞最優秀賞を賜り、誠にありがとうございます。

今回の技術の実用化にあたっては、当社は、ビックデータの処理を実現するために、モニタリングセンターを設立し「データ処理フローの確立と標準化」「オペレータによる画像確認手法の確立」を行いました。また、装置の安定稼働を実現するために、装置を常に遠隔監視するシステムを導入し装置の管理を行っております。

当社にとっても、全く初めての試みでもあり、事業化においては、試行錯誤の繰り返しでありましたし、現在でも、更なる処理の効率化・自動化により生産性の向上を進めております。

なお、共同開発法人の皆様とは、多いに議論・打合せ繰り返し、装置の安定稼働・システムやツールの開発において、多大なご協力・ご支援頂きました。ここに改めて感謝申し上げます。

#### 受賞後の動き

今回、技術の実用化は実現しておりますが、ビックデータ処理や画像確認手法には、まだまだ発展させる要素が多分にあると考えております。引き続き、定めた方向性での試行を進め、ビックデータ処理分析リテラシーを向上させて、進化するIoTやAIの積極的な活用を進めることで、更なる生産性向上を進めて参りたいと思います。